

住まいに関するお悩み相談事業に参加  
顧客との「つながり」が持てました！

先代である父の暖簾を受け継いだ私が、平成4年に法人化したのが弊社です。ハウスメーカーが台頭してきている中、地域に密着した工務店として、腕一本で勝負しています。

大府商工会議所には、長きにわたりお世話になっていますが、中でも「住宅修繕事業」には大変助けられました。

この事業は、毎月第2・第4水曜日の13～16時に商工会議所の相談室を無料で開放してもらい、そこで住宅修繕相談事業専門部会に所属する地元の建設業者が、住まいに関する相談に応じるといふもの。職業柄、腕に自信があっても、それをアピールする機会にはなかなか巡り合えないという建設業者が少なくないはず。弊社も以前はそ

うでしたが、この事業を活用することで、市民の皆さんとの接点を持つようになりました。

こうして、これまでたくさん相談を受けてきましたが、その多くは雨漏りの修繕や立て付けが悪くなった窓の交換といった程度の仕事で、大きな利益をもたらすものではありませんでした。しかし、大切なのは顧客との「つながり」です。心を込めて仕事をやり遂げることで信頼関係が生まれ、やがて「気軽に相談できる大工さん」として利用してもらえるようになりま

す。そして、お得意さまとなつてくれた顧客から、後日、増築工事という大きな仕事をいただくこともあるのです。

一方、そうした活動の中で、実は利用者側も「地元の建設業者に依頼したいが、どこにお願いしたらいいかわからない」という問題を抱えていることに気がきました。そこで、メンバーとともに、「大府市産業文化まつり」に参加。自分たちのことを知ってもらう機会になればと修繕相談会を催しました。さらに、近寄り難いイメージを持たれがちな職人に親しみを持つってもらうため、竹を使った玩具の製作体験も行ったところ、子どもたちを中心に大変好評でした。

今後は、若手の人にも事業にどんどん参画してもらい、地域の建設業を盛り上げていきたいと思っています。いろいろなことに挑戦する「きっかけ」を与えてくれた商工会議所。今後も、新たな「きっかけ」をつくってくれることを期待しています。



有限会社ますだ建築  
代表取締役社長  
舛田 利廣さん

担当者からひと言



大府商工会議所  
(愛知県)  
地域振興課 主事  
小久保 友博

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

「住宅修繕事業」は、当所の前身である大府市商工会が平成3年にスタートさせたものです。14年に当所が発足した際に事業を引き継ぎ、以来、住宅修繕相談事業専門部会のメンバーと力を合わせながら継続的に実施してきました。これまでの相談件数は、延べ1000件にも上っています。

舛田さんは、部会二のアイデアアマン。メンバーからの信頼も厚く、「大府市産業文化まつり」に参加するときは、みんなの声をまとめ上げてくれました。

当所では今後、この事業をさらに活性化させるため、ITを使った情報発信を強化していく予定です。これからも、地域で頑張る建設業者のサポートに尽力していきます。